

重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

凡例：■…達成度が60%以下のもの、■…既に目標を達成しているもの

基本目標 1 活力と交流のある、住みたいまちづくり

(1) まちの活性化と生活環境の向上

①瀬戸内の交通結節点としてのポテンシャルの活用

施策	重要業績評価指標（KPI）									参考 第2期の目標 値（R6）	担当課 （室）	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度(%) 現状値 /目標値				
1 フルイン ター化	フルイン ター化に伴 う企業誘致 件数	-	-	-	1件 (H27～ 29)	6件 (H27～ 30)	9件 (H27～ R1)	3件	300.0	3件	企業活 力推進 室	実績（企業誘致件数） ・平成27年度：0件 ・平成28年度：0件 ・平成29年度：1件 ・平成30年度：5件 ・令和元年度：3件 ※H29.7.21 フルインター化事業採択	今年度（令和2年度）新たに県の番 の州臨海工業団地に3社の企業立地が 決定した。 令和6年度のフルインター供用開始予 定に向け、今後も引き続き企業誘致に 努めていく。
2 -	JR坂出駅の1 日あたり乗 車人員	5,168 人	5,257 人	5,244 人	5,276 人	5,355 人	5,333 人	5,500 人	97.0	5,500 人	-	年々微増しており、四国内では4位 となっている。 【令和元年度】 1位 高松 12,976人 2位 徳島 8,089人 3位 松山 6,871人 5位 高知 5,070人 6位 丸亀 4,005人	坂出駅北口駅前広場の拡張再整備な ど、県内屈指の交通アクセスの良さを 誇る本市の強みをさらに向上させ、交 流人口の拡大、人口増加により乗車人 員の増加を図る。
3 企業立地促 進助成金	企業立地促 進助成金を 利用した市 内新規常用 雇用者数 (直近5年の 件数)	84名 (H22～ 26)	81名 (H23～ 27)	81名 (H24～ 28)	68名 (H25～ 29)	54名 (H26～ 30)	20名 (H27～ R1)	100名	20.0	70名	企業活 力推進 室	実績（利用件数・市内新規常用雇用者 数・助成金額） ・平成24年度：3件・18名・132,461千円 ・平成25年度：4件・19名・119,235千円 ・平成26年度：4件・36名・149,756千円 ・平成27年度：2件・8名・43,034千円 ・平成28年度：0件・0名・0千円 ・平成29年度：2件・5名・28,457千円 ・平成30年度：2件・5名・77,749千円 ・令和元年度：1件・2名・18,740千円	例年数件の助成実績があり、当該制 度の定着に伴い、今後も雇用機会の拡 大を図る。 また、企業の新規投資および番の州 地区への企業進出等により今後も雇用 者数の増加が見込まれる。引き続き目 標値の達成に向け企業誘致を促進す る。

現状値が目標を達成または5年間に目標値
を2回以上達成した指標の数

1/3

②都市の整備と地域公共交通の利便性向上

重要業績評価指標 (KPI)										参考	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
施策	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度(%) 現状値/ 目標値	第2期の目標 値 (R6)				
4	循環バス運 行事業	利用者数 (人/年)	29,520 人	47,210 人	50,679 人	56,555 人	58,813 人	60,644 人	52,700 人	115.1	72,000 人	都市整 備課	平成26年10月から運行ルートを2ルート 化したことや、平成28年10月からの運行 便数や時刻の変更等、利用者のニーズに 応じた運行形態改善の取組により、利用 者数が増加した。 また、車内におけるバルーンの展示 や、幼稚園、保育園児に向けてのバスの 乗り方教室の実施等、ソフト面の取組も 行い、利用促進を図った。	引き続き利用者等の意見をふまえ、利 便性の向上を図るとともに、PRを行い、 利用促進を図る。 なお、令和2年10月1日から、東ルー ト、西ルートに加え、新たにJR坂出駅、 市内総合病院、市役所等を結びコンパク トに繋ぐ中ルートの運行を開始し、利便 性の向上を図った。
5	デマンド型 乗合タク シー運行事 業	利用者数 (人/年)	1,093 人	3,911 人	3,708 人	3,736 人	3,871 人	4,221 人	3,900 人	108.2	-	都市整 備課	地域住民への利用方法についてのチラ シの全戸配布を行うなど、PRを行い、利 用促進を図った。	引き続き免許返納者等へのPRや、利用 者の意見を収集し、さらなる利便性の向 上に取り組む。

現状値が目標を達成または5年間に目標値
を2回以上達成した指標の数

2/2

③社会資本の維持管理と既存公共施設の利活用

重要業績評価指標 (KPI)										参考	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
施策	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度(%) 現状値/ 目標値	第2期の目標 値 (R6)				
6	橋梁管理	市道におけ る橋梁の補 修箇所数 (累計)	24橋 (H24~ 26)	1橋 (H27)	5橋 (H27~ 28)	8橋 (H27~ 29)	16橋 (H27~ 30)	24橋 (H27~ R1)	41橋 (H27~ R1)	58.5	25橋 (R2~R6)	建設課	当初の想定より老朽化が進んでいたた め、1橋当りの修繕費が高くなり、目標値 には達していないが、緊急性の高い橋梁 から順次、修繕工事を実施した。	橋梁の長寿命化を図るため、今後も引 続き計画的に修繕工事を実施する。
7	王越宿泊型 野外活動施 設「交流の 里 おうご し」	利用者数 (人/年) H29.4開設	-	-	-	3,843 人	3,636 人	3,208 人	2,000 人	160.4	4,000 人	生涯学 習課	平成29年に開設した宿泊型野外活動施 設「交流の里 おうごし」は、利用団体 等からの要望もあり、平成30年に宿泊室 へのエアコン設置を行い、利便性の向上 を図った。令和元年度においては、利用 団体は増加したものの、大人数での利 用が少なかったのと、年度末の新型コロ ナウイルス感染症の影響もあり、利用者 数の減となっている。	利用者の増加を図るため、王越地区の 魅力ある資源やピザ窯等の設備を利用し た体験プログラムを地元団体の協力のも と8コース増設した。引き続き、トンボ学 校を始めとする季節に応じたイベントの 開催を行う他、新しくなったとんぼラン ドをPRするなど王越町の魅力の発信や王 越地区のにぎわいの創出を図っていく。

現状値が目標を達成または5年間に目標値
を2回以上達成した指標の数

1/2

(2) 坂出の魅力発信とファンづくり

重要業績評価指標 (KPI)											参考	担当課(室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等
施策	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度(%) 現状値/ 目標値	第2期の目標 値 (R6)				
8	まちあるき 事業	ツアー参加 者数 (人/年)	814人	776人	586人	509人	758人	367人	650人	56.5	770人	にぎわ い室	平成27年度および平成30年度は目標値を上回る実績となったが、令和元年度は、台風等の悪天候や新型コロナウイルス感染症によるツアーキャンセルが相次いで発生したため、目標数値を大きく下回る結果となった。	ウィズコロナの時代に適したまちあるきを継続しつつ、引き続き、坂出市の魅力をPRできるまちあるきコースの造成を図り、交流人口の拡大を図っていく。
9	ホームペー ジ運営	市ホーム ページ全体 のアクセス 数(件数/ 年)	608,433 アクセス	644,191 アクセス	645,572 アクセス	629,236 アクセス	733,512 アクセス	824,884 アクセス	660,000 アクセス	125.0	719,000 アクセス	秘書広 報課	平成30年のリニューアルでは、デザインの一新、子育て応援サイト、スマートフォン等端末の対応、検索機能の充実など利便性の向上を図った。また、令和元年11月には、職員の意識や知識を高めるため、CMS操作にかかる職員研修を実施した。 前年度よりアクセス数は増えており、主な原因として市議会議員選挙(4月)、瀬戸内国際芸術祭(4,5月)、新型コロナウイルス感染症(2,3月)が挙げられる。	引き続き、ウェブアクセシビリティにも配慮しながら、観光情報の特設サイトを新設する等により、内容の充実と適時適切な情報提供を図り、だれもが利用しやすいホームページを目指す。
10	ふるさと坂 出応援寄付	寄附件数 (件数/ 年)	18 件	101 件	2,072 件	4,631 件	6,926 件	11,265 件	4,000 件	173.2	10,000 件	政策課	実績(寄附件数・寄附額) ・平成24年度: 12件・ 2,540千円 ・平成25年度: 10件・ 2,635千円 ・平成26年度: 18件・ 41,805千円 ・平成27年度: 101件・ 5,160千円 ・平成28年度: 2,072件・ 43,527千円 ・平成29年度: 4,631件・ 88,809千円 ・平成30年度: 6,926件・ 119,050千円 ・令和元年度: 11,265件・ 253,032千円 平成28年度より専門業者に委託し、ふるさと納税専用サイトの利用やクレジット決済を導入。 平成31年3月に、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」リニューアルにより、ポイント付与可能額(下限)を5千円からとし、以後千円間隔で3ポイント毎の付与とした。 返礼品数は現在約170品程。件数・金額ともに大幅な増加が見受けられた。	季節ごとの新たな返礼品の充実や、本市を訪問しての体験型を返礼品として検討するなど、更なるPRに努めていく。
11		寄附金額 (円/年)	41,805 千円	5,160 千円	43,527 千円	88,809 千円	119,050 千円	253,032 千円	80,000 千円	148.8	200,000 千円			
12		さかいでブ ランド認定 品の返礼件 数(件数/ 年)	-	-	450件	558件	594件	229件	700件	32.7	-			

現状値が目標を達成または5年間に目標値を2回以上達成した指標の数

4/5

(3) 移住・定住の促進

①移住の促進

											現状値が目標を達成または5年間に目標値を2回以上達成した指標の数	2/3		
施策	重要業績評価指標 (KPI)									参考 第2期の目標値 (R6)	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度(%) 現状値/ 目標値					
13	新婚世帯家賃補助事業	新婚世帯家賃補助事業を利用した市外からの移住者数(人/年)	46人	74人	120人	98人	72人	94人	150人	48.0	150人	政策課	当該制度開始当初は、平成26年度から平成28年度までの3年間限定の予定であったが、一定の成果が認められることから、継続実施することとした。 平成30年度は、前年度に比べ減少したが、制度利用者からは概ね好評であり、本市への移住に一定の効果を挙げていると考えている。	当該制度の実施期限について、期限を定めず今後も実施していくこととした。また、令和元年度より、新婚世帯家賃補助事業から移住新婚世帯への補助を削除し、県外からの移住世帯については新婚であるかどうかを問わず、一定の要件の下で家賃補助を実施することとしている。
14	空き家バンク	香川県空き家バンクサイトに登録されている市内物件数	16件	19件	8件	8件	9件	27件	20件	135.0	20件	政策課	制度の認知度の高まりから、登録されている物件の数が増加しており、不動産空き家バンクへの登録に関する相談は増加傾向にあることから、潜在的には利用ニーズがあるものと考えられる。	固定資産税の納税通知書にチラシを同封して制度の周知を図ったところ、多数の問い合わせをいただいていることから、今後、登録物件数が増加していくことが見込まれる。
15	まちなか中高層住宅建設促進事業	補助金を利用した建設戸数	-	-	0戸	0戸	0戸	52戸	50戸	104.0	50戸	政策課	実績(申請件数) ・平成28年度:申請0件 ・平成29年度:申請1件 ・平成30年度:申請0件 ・令和元年度:申請0件	補助対象区域において、助成要件を満たす用地(500㎡以上)の確保が難しい状況ではあるが、引き続き当制度の周知を図るなど、事業者等の利用促進に努める。

②若者の定住促進

											現状値が目標を達成または5年間に目標値を2回以上達成した指標の数	1/2		
施策	重要業績評価指標 (KPI)									参考 第2期の目標値 (R6)	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度(%) 現状値/ 目標値					
16	就職フェア	就職フェア参加者のうち市内企業への就職者数(累計)	5名 (H25~26)	4名 (H27)	8名 (H27~28)	13名 (H27~29)	14名 (H27~30)	14名 (H27~R1)	15名 (H27~R1)	93.3	15名 (R2~6)	企業活力推進室	・実施状況(参加企業・参加者数) ・平成25年度:19社・116名(H25.12月) ・平成26年度:20社・32名(H26.8月) 31社・167名(H27.3月) ・平成27年度:26社・31名(H27.8月) 32社・65名(H28.3月) ・平成28年度:32社・70名(H29.3月) ・平成29年度:32社・65名(H30.3月) ・平成30年度:32社・23名(H31.3月) ・令和元年度:新型コロナウイルス感染症の影響により中止 面接などの選考活動スケジュールの変更や、売り手市場により8月の参加者数が減少したことから、年2回開催していた就職フェアを1回のみとした。	経団連の採用活動指針に注視しつつ、フェア開催時期等を検討しながら、将来的な市の人口増に繋がるよう今後も就職フェアを開催していく。
17	-	ハローワーク坂出の有効求人倍率	1.30	1.57	1.93	2.07	2.21	2.37	1.40	169.3	-	-	全国的に人手不足の売り手市場であり、本市でも年々有効求人倍率は上昇している。	労働力不足、若い世代の労働力確保が全国的な課題となっている一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による企業業績の悪化に伴う解雇等、雇用情勢は不透明な状況となっている。

(4) 交流人口の拡大

① 観光を軸にした交流人口の拡大

											現状値が目標を達成または5年間に目標値を2回以上達成した指標の数	1/3		
施策	重要業績評価指標 (KPI)									参考 第2期の目標値 (R6)	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度 (%) 現状値 /目標値					
18	瀬戸内国際芸術祭2016 沙弥島会場	来場者数	77,693 人 (前回 H25)	-	58,766 人	-	-	72,459 人	78,000 人	75.3	78,000 人 (R4)	にぎわ い室	春会期開幕後10連休があったことや、住民との共働による地域の特色を生かしたおもてなし等により、来場者数は前回との比較で20%を超える大幅増となった。瀬戸内国際芸術祭2019の来場者数は、目標値に対して92.9%の達成率となっている。	瀬戸内国際芸術祭2019における成果を踏まえ、さらなる来場者数の増加につなげたいが、コロナウイルスと共存せざるを得ない状況の中で、どれだけ来場者数の増加が見込めるかが課題である。
19	観光振興事業	観光入込客数 (人/年)	4,038,890 人	4,373,000 人	4,653,885 人	4,436,156 人	4,480,272 人	4,504,069 人	4,900,000 人	91.9	4,700,000 人	にぎわ い室	平成28年度の瀬戸内国際芸術祭、四国遍路の逆うちのため、突出しているが、平成26年度の当初値と比較すると伸びており、交流人口の拡大が図れている。ただ新型コロナウイルス感染症の影響が令和2年3月から出始めている。	観光プロモーションビデオの作成や市ホームページにおける観光情報の特設サイトを新設させる等により、本市の魅力をPRすることで交流人口の拡大を図っていく。
20	まちあるき 事業 [再掲8]	ツアー参加者数 (人/年)	814人	776人	586人	509人	758人	367人	650人	56.5	770人	にぎわ い室	平成27年度および平成30年度は目標値を上回る実績となったが、令和元年度は、台風等の悪天候や新型コロナウイルス感染症によるツアーキャンセルが相次いで発生したため、目標数値を大きく下回る結果となった。	ウィズコロナの時代に適したまちあるきを継続しつつ、引き続き、坂出市の魅力をPRできるまちあるきコースの造成を図り、交流人口の拡大を図っていく。

② 特色を生かした地域づくり

											現状値が目標を達成または5年間に目標値を2回以上達成した指標の数	2/2		
施策	重要業績評価指標 (KPI)									参考 第2期の目標値 (R6)	担当課 (室)	事業の進捗状況に関する評価 およびKPIの増減理由等	課題および今後の方針等	
	指標名	当初値 (H26)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	現状値 (R1実績)	目標値 (R1)	達成度 (%) 現状値 /目標値					
21	讃岐国府跡 探索事業	讃岐国府跡 調査報告会 来場者数 (人/年)	135人	140人	150人	155人	90人	中止	150人	-	150人	文化振 興課	平成25年以降、毎年実施しているが、参加者が固定化されている傾向が伺えた。その年の講師や講演内容によって参加者に多少の増減が見られる傾向にあった。令和元年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為急遽中止とした。令和元年度できなかった報告については、今年度の調査報告会においてまとめて報告する。	讃岐国府跡の発見当初の新聞報道が大きかったため、現地説明会の参加者数も多かったが、翌年から通常の数に戻り、以後150人から200人ほどを数えており、報告会についても似たような傾向がみられる。 市民ふれあい会館で毎年開催を実施しており、報告会の内容や日程により参加者の増減に繋がる傾向があることから、講演内容や日時等も十分検討し、目標値の参加人員の回復を目指す。
22	にぎわい創 出事業	にぎわい創 出事業を契 機に定着し た事業数 (累計)	2件 (H25~ 26)	1件 (H27)	5件 (H27~ 28)	6件 (H27~ 29)	6件 (H27~ 30)	9件 (H27~ R1)	7件 (H27~ R1)	128.6	12件 (R2~6)	にぎわ い室	にぎわい創出事業を活用することで市民が自発的にイベント等を実施し、にぎわいづくりに参加する機会を創出できており、令和元年度は、ミセモノガタリ、八十場まちおこし畑でライブ!、フラフェスタが新たな定着事業として増えた。	今後もにぎわい創出事業により各種事業を支援することでにぎわいの創出を図っていく。